

酒 販 通 信

令和5年(2023)
6月25日発行

第683号

発行所 ■全国小売酒販組合中央会 〒153-8640東京都目黒区中目黒2-1-27 Tel03(3714)0172 Fax050(3730)1064
発行人 ■全国小売酒販組合中央会代表者 吉田 精孝
編集・制作 ■全国小売酒販組合中央会 Tel03(3714)0172
定価 ■100円(税込)

全国小売酒販組合中央会

全国小売酒販組合中央会通常総会

時代に即した「業界団体」を目指す

総会提出議案

- 第1号議案 令和4年度事業報告の件
- 第2号議案 令和4年度収支計算書・貸借対照表・財産目録承認の件
- 第3号議案 令和5年度事業計画案承認の件
- 第4号議案 令和5年度収支予算書案承認の件
- 第5号議案 令和5年度経費負担金徴収方法案承認の件



右) 議長を務める神奈川県連佐藤会長
左) 質問をする岡山県連森協会長

6月28日、全国小売酒販組合中央会(以下、中央会)第70回通常総会が開催されました。本総会は約4年ぶりにリアルでの開催となり、全国から会員が終結。すべての議案が原案通り承認されました。

8年ぶりの「コア講師講習」開催を決議

第3号議案の事業計画案として、コア講師講習の開催に向けて、国税庁をはじめとする関係省庁と協議を行うこと、令和5年度も前年度と同様に総額500万円の「支部費」を支給する案が賛成多数で承認されました。また、出席会員より出された質問等について、執行部が次のように回答いたしました。(一部のみ掲載)

【質問】酒類販売管理研修のオンライン化について、メリット・デメリットを明確にし、今後の環境変化に備えるべきではないか。

【回答】研修のオンライン化は、法定研修の質の維持、受講者の利便性、研修実施団体である連合会・地区組合への影響を慎重に検討する必要がある。時代に即した研修の在り方を今後執行部にて考えていきたい。

【要望】組合員の減少が進み組合運営が厳しい。連合会・地区組合の状況を鑑み、賦課金の減額や救済措置を要望する。

【回答】中央会の賦課金は1組合員あたり年間580円だが、中央会として行政等への様々な要望等活発な活動を行っており、賦

本号の主な内容

第70回通常総会 来賓挨拶	2面
第70回通常総会 会長挨拶	3面
計算書	4面
全酒協・第52期通常総会	5面
全生協・総代会	6面
広告	7面
全国小売酒販青年協議会 通常総会	8面

課金の減額は考えていない。一方で、フロンティア補助金等の酒販店支援策実施への働きかけ、(一社)日本フランチャイズチェーン協会の賛助会員加入、コロナ支援金の獲得、青年会への助成、連合会HPの作成等を行っている。具体的なご要望があれば執行部にて検討したい。

中央会総会後に開催された全国小売酒販政治連盟(酒政連)通常総会は、43支部(委任状含む)が出席し、すべての議案が原案通り承認されました。その他協議報告事項として、令和5年3月31日付で中央会水口尚人事務局長が退職したことに伴い、同日付で政治連盟常勤理事も退任したことが報告されました。

水口理事の退任を報告

全国小売酒販政治連盟 通常総会

【組合員の皆様へ】「FAX旬報」及び「酒政連だより」のメール配信をご希望の方は所属組合を通して中央会へお申し込み下さい。